

むくのきだより

2月号

平成30年2月1日

港区立赤羽幼稚園長 宮崎 直人



「発表会に向けて」

園長 宮崎 直人

もうすぐ節分・立春を迎えますが、厳しい寒さが続いているこの頃です。風邪やインフルエンザが全国的に流行しています。赤羽小学校では、学級閉鎖をいくつかの学級で行いました。幼稚園においても、風邪やインフルエンザを予防するために、うがい・手洗いの徹底を継続して行っているところです。ご家庭でもご留意ください。

先月の大雪のときには、様々なご配慮をありがとうございました。子供たちは、雪が降り始めた頃からわくわくして、テラスから雪を眺めたり、手のひらの雪が溶けていく様子を見たりしていました。翌日、降り積もった雪に大喜びでした。雪の中を感触を確かめながら歩いたり、雪合戦をしたり、雪だるまを作ったり、小さなかまくらを作ったり、雪遊びを満喫していました。また、この日は、児童の安全を考え、早朝から除雪を行っていましたが、保護者の方や地域の方で、通学路の除雪を行ってくださったもいっしやいました。おかげ様で、安全に登園・降園することができました。ありがとうございました。

雪遊びをした1月23日（金）の午後には、高輪区民ホールで「港区連合観劇会」がありました。ブーク人形劇団が、「いつもちこくのおとこのこ」と「三びきのやぎのがらがらどん」を演じてくれました。子供たちは、椅子から身を乗り出すほど、人形劇の世界に引き込まれ、目を輝かせながら観劇していました。「おもしろかった」「がらがらどんがトロルを倒したところがドキドキした」等、興奮しながら友達や先生に話す姿が多く見られました。

さて、2月3日（土）の発表会に向けて、子供たちは、一生懸命練習に励んでいます。発表会では、子供たちが歌を歌ったり、合奏をしたり、劇を行ったり、明るく元気よく表現します。

さくら組では、大好きな絵本の世界の中で、みんなで色々な生き物になって動いたり、やりとりしたりしています。今日は何をやろうかと考えたりなりきったしぐさを楽しんだりしながら一人一人がのびのびと表現しています。

ゆり組では、日頃から表現遊びが好きでなりきって遊ぶことを楽しんでいます。発表会に向けては自分たちで話の内容やセリフを考え、自分の取り組みたい役の動きや表情をグループの友達と試行錯誤しながら表現しています。

発表会は、この一年間の集大成となる大きな行事です。ご来園いただき、励ましの声をかけていただきますようお願い申し上げます。



かまくらを作ろう！

雪遊びの様子



雪だるまができてきたね